

今 僕たちは 卒業式ができて とてもうれ
しいです。

一年生のときの大雪、そして今回の 新型
コロナウイルス対策のための 突然の休校。

いつも通りの毎日が明日もやってくる。

明日も友達と会える。これは 当たり前では
なかったのだと考えさせられました。だから
今、こうやって仲間と共に旅立ちのときを迎
えられたこと、家族や先生、来賓の方、地域
の方に祝っていたただけること、心から感謝し
ています。

今 僕たちは 誇らしいです。

布水中学校での三年間で、僕たちは多くの
ことを学び、経験し、成長できました。そし
て、語り尽くせない大切な思い出と、かけが
えのない友を得ました。

一年生。

希望と新たな出会いに胸を躍らせ、先輩方
の大きな背中に憧れました。新しい友との、
初めてのことばかりの一年は あつという間
に過ぎていきました。中学生としての自信、
さまざまなものを見方を得ることができた
一年でした。

二年生。

学校を引き継ぐ責任や困難さ、そして、「働く」ことの意味を知った一年でした。「先輩」となり、後輩の手本になれるように、そして、目標とする先輩方に追いつけるようにと努力しました。

三日間の職場体験では、一つひとつの仕事が世の中を支えていること、そして、親の苦勞に気づきました。

三年生。「最後の年だ、最上級生だ」という思いを強く持ち、さまざまなこと、精一杯取り組んだ一年でした。日々の生活や多くの行事を通して、クラスの思いは一つになっていきました。

修学旅行で訪れた京都、大阪、奈良。古都の歴史的建造物の数々は、教科書で見る写真とは比べものにならない迫力で、僕たちを圧倒しました。千年以上の時を経て、なお残り続ける歴史の重み、地域に根付く文化、それを守る人々の思い、友達の新たな一面。たくさんさんの驚きと発見があった三日間でした。

運動会。青空に映える三色の団旗、思いを込めたクラスTシャツ。声をからした応援練習、力の限り戦った競技。あの日の胸の鼓動とみんなの歓声がよみがえってきます。

団やクラスの仲間のために、そして自分のために、一人ひとりが「全力」を尽くして創り上げた大運動会は、僕たちにとって大きな

自信となりました。

声と思いを歌に乗せた合唱コンクールも、仲間との絆を強くしてくれました。

そして、受験に向けた日々の勉強も、学び合い、認め合い、互いを思い合える仲間がいたからこそ、頑張りぬけました。

三年間の部活動。

苦しいこと、厳しいことから逃げ出したいときもありました。しかし、目標を持ち、成し遂げたときの喜びが、僕たちを強くしてくれました。共に励まし、競い合える仲間の存在が、僕たちを優しく、大きくしてくれました。

新しい自分を発見し、「なりたい自分」に本気で向かっていった、僕たちにとって意義のある日々でした。

令和という新しい時代を迎えました。

しかし、自然災害や世界的な環境問題・人権問題など、僕たちを取り巻く未来には課題がたくさんあります。

三年後、僕たちが18歳になったとき、僕たちは社会で「成人」と認められるようにもなります。

自分の行動や考えを、自分の責任として行えるか。今の僕たちではまだ不安です。

しかし、この布水中学校で学んだことを礎とし、誰かのために、自分のために、力と心を尽くせる人間でいたいと思います。

これまで出会った全ての人たちが、今の僕たちを作ってくれました。

僕たちを教え、諭し、導いてくださった先生方。心配もたくさんかけました。僕たちを温かく見守り続けてくださり、ありがとうございます。ございました。

そして、いつでもどんなときでも僕たちを信じ、応援してくれた家族。僕たちを生んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。これからもよろしくお願いします。

僕たち二二八名。
たくさんの人からもらった「あい」を勇気
に変え、それぞれの夢に向かってしつかりと
進んでいきます。

令和二年三月十三日

卒業生代表

松井

優大